

綴られた地域のできごと

…戦時下での児童生徒の勤労作業

昭和18年から昭和20年にかけて、断片的な記録として残っている、常呂村の国民学校や地域で行われた児童生徒の勤労作業のことを以下のようにまとめた。

■昭和18年度

※常呂国民学校の勤労作業

- * 7月20日：常呂国民学校児童30余名が海苔養殖勤労奉仕中にクラゲに刺され、五十嵐医師が手当て、重傷者はなし（当直日誌）
- * 「昭和18年度 学事報告」の「重要行事」欄に、「鯿（ニシン）漁業 手伝い、援農、イタドリ葉採集」の記載：具体的な作業・日程は不明

■昭和19年度

※常呂国民学校の勤労作業（昭和19年度常呂小学校学事報告）

- * ニシン漁援助：5月10日～15日の5日間 延べ262名 高等科は箱打ち、初等6年は運搬、火急人不足を補う 漁業会より報償金300円
- * 苗圃作業：5月2日、第1回補植 以後継続して除草・植林などを秋にいたるまで数回、初等科4年以上で実施
- * イタドリ葉採集
8月いっぱい連日炎天下で刈り倒し収集、荷造り、発送まで全児童出動、戦果は、7貫詰で55俵、計385貫
- * 壕掘り：10月7日 高等科男子
- * 援農
10月上旬から11月中旬、馬鈴薯掘りを主に東浜・土佐に出動、延べ人員38名
- * 建築資材運搬：10月16日 初等科6年以上
- * 食糧生産援助：10月27日

〈昭和19年度 常呂国民学校職員の勤労作業〉

- * 4月8日、大吹雪で常呂国民学校全職員が鉄道に出動（常呂小学事報告）
- * 4月8日、常呂小学校午後より町内各戸1名以上、鉄道線路除雪に出役す（当直日誌）

■昭和20年

※常呂国民学校児童の勤労作業（昭和20年度常呂小学校学事報告）

- * 除雪：2月中旬、3日間にわたり高等科出勤、自動車道路除雪、
延170人
- * 国力鉱山の除雪（4月 高等科）
- * ホタテ養殖（4月10日～6月頃まで出勤日数10日間
高等科・初等科6年）
- * 日通貨車摘み（4月18日～5月11日間 高等科）
- * 鯨（5月3日 高等科）
- * 干馬鈴薯（アルコール原料）製造（5月～7月3日間）
- * 防火貯水槽（5月22日～11月20日 10日間）
- * 防空壕造り（7月中 20日間で5ヶ所）
- * 針葉樹油採取（第1回 6月17日～7月6日
第2回 8月8日～16日 高等科）
- * 鉄鉱積み卸し（8月中 2週間）
- * 鉄道除草（3日間）
- * 営林署援助（8日間）
- * 粉化食原料（樅葉、海藻、イタドリ葉採集 終戦後8月～9月中15日間）
- * 馬鈴薯掘り（10月4日～31日 約15日間 高等科・初等科6年）
- * アルミ貨・アルミ弁当箱、その他金属回収
- * カボチャの種、トウモロコシの種蒐集供出

※福山国民学校児童の勤労作業（福山小学校沿革誌）

- * 児童の防空壕掘りで部落会出勤（7月5日）

※日吉国民学校児童の勤労作業

* 「日吉小学校開校周年記念誌」掲載の「大平勉／日吉の思い出」から抜粋（略）私の入学が終戦間近の昭和19年でありました。当時は子ども心にも戦争に負けるという感じがしませんでした。食糧不足、衣料その他の物資も全て不足、私たち低学年は授業半分、後の半分はタバコの代用としてイタドリの葉を採りに、よく川向かいの芝山さん、清井さんの家の近くまで採りに行き、集めたイタドリの葉を学校に持ち帰り、1つの教室を空けて乾燥室にして、当時としては珍しいトラックで持って行ったのをよく覚えている。上級生は福山方面へ泊まりがけで松葉油を採りに行ったことも覚えている。